

【学校の評価】

(1) 授業アンケートの結果（令和2年度）

2学期に実施いたしました「授業アンケート」の集計の結果につきましてご報告いたします。

保護者の皆様におかれましては、ご多用の中、ご回答をいただきましてありがとうございました。

① アンケート回答率：89.4%（前年度比+9.1ポイント） ②評価対象教員数：22名

1.お子さまは授業を受けて、その内容に興味や関心や意欲をもつようになっていますか。 【興味・関心・意欲の向上】	43.1%	41.0%	9.1%	4.6%	2.2%
2.お子さまは、授業の内容が分かるようになっていますか 【学習内容の習得】	49.1%	38.8%	7.0%	3.1%	2.0%
3.お子さまは、授業で分からないときやもっと知りたいとき、そのことについて教えてもらっていますか 【個の状況に応じた支援】	49.0%	32.9%	8.8%	4.7%	4.6%
4.お子さまは、授業は質問や発表などがしやすい雰囲気だと感じていますか 【望ましい学習集団の育成】	46.6%	34.4%	10.2%	5.0%	3.8%
5.お子さまは、授業で頑張ったことを認めてもらえたと思っていますか 【児童生徒への適切な評価】	49.5%	34.6%	5.8%	3.6%	6.5%
6.お子さまは、「学習のきまり」をしっかり守るように指導されていると思っていますか 【学習規律の定着】	51.4%	35.9%	5.5%	2.5%	4.7%
	そう思う	だいたい そう思う	あまり 思わない	思わない	わから ない その他

<結果と課題>

【結果について】 6項目すべてにおいて、肯定的評価（「そう思う」、「だいたいそう思う」を合わせた評価）が80%を超える結果となりました。【2. 学習内容の習得】（87.9%）と【6. 学習規律の定着】（87.3%）では、90%に近い評価をいただきました。「学習のきまり」（チャイムが鳴ったら授業が始められるようにする、授業の初めと終わりにあいさつをする、授業中は立ち歩かない等）についての全クラスでの取り組み、また、国語科の授業研究を中心に「話を聞き、対話を通じて学びを深めること」への指導に力を入れる取り組みを進めてきたことが、このような評価につながった一因であると考えます。今年度は授業参観等の機会も多くはありませんでしたが、児童の様子を観ていただければ、ほとんどの児童が「聞くこと、対話すること」への意識を高め、授業だけでなく、さまざまな場面において頑張っている様子が伺えたことだと思います。「聞くこと、対話すること」は、学びを深めることにつながっていることはもちろん、学校生活や集団生活をする上で、とても大切なことであると考えます。今後も、「話をしっかりと聞き、学びを深める子」の育成に向けて、教員の授業力や指導力を向上させ、取り組みを進めてまいります。

【課題について】 【3. 個の状況に応じた支援】で5.7ポイント、【4. 望ましい学習集団の育成】で4.2ポイント、昨年度に比べてそれぞれ肯定的評価が減少しています。したがって、本校が目指す大きな目標でもある「個に応じた支援」や「望ましい集団作り」に対しまして、今後もよりいっそう具体的な取り組みを進め、今、求められる「子どもたちが主体的に学び、対話を通して学びを深めていける授業」の達成に向け、「Hirakata 授業スタンダード」に基づいた授業を行うことはもとより、今年度の本校の授業研究のテーマでもある「対話を通じて、よさやちがいを認め合い、気づきを深め合える子どもの育成～「話し合うって楽しい！」があふれる授業の構築～」をめざした授業づくりをさらに推し進め、児童へのよりきめ細かな指導を行ってまいります。

● 本校教員は、児童の「確かな学力」の定着のために、児童の笑顔があふれるよりよい授業に向けて、学年会等での教材・指導法の研究や外部講師を招いての研究授業、日常の授業観察指導等を通じて、「授業改善」にはこれまで以上に全力で取り組んでまいりたいと考えます。保護者の皆様には日頃からお子様に「家庭学習（宿題や自主学習等）」を行うように働きかけていただきましてありがとうございます。今後ともご支援・ご協力をいただき、ご家庭との連携を深めてまいりたいと考えております。なにとぞ、よろしく願いいたします。